

議会報告会 意見交換会 活発な意見交換

松田町議会では、7月20日(土)午後7時に寄小学校屋内運動場多目的ルーム(19人参加)、27日(土)午後7時に生涯学習センター展示ホール(7人参加)で、議会報告会・意見交換会を開催しましたので、その概要についてお知らせします。

寄会場

生涯学習センター

参加者 営業は時間短縮になるか。

議員 予約がある場合は、対応します。

参加者 大ホールの利用件数はどのくらいか。

議員 平成29年が5件、平成30年が7件、令和元

年度が8件です。

参加者 大ホールの利用について営業強化などは審議したか。

議員 審議しました。町もいろいろな事務所に問い合わせをしたりしているそうです。

寄みやま運動広場 人工芝新設工事

参加者 大イベントの際の駐車場としても利用しているが、車が人工芝に乗ることによって人工芝の劣化が激しくなり、またそれによりマイクロプラスチックが流出しないか。

議員 ロウバイまつりは1か月ぐらい開催するため、毎日、車が入ってきて、それによって芝生が

折れたりして、どれだけの影響があるのかを町に確認したところ、「車が入っても人工芝に影響がないような耐久性があり、環境に配慮したものを考えている」との回答でした。なお、マイクロプラスチックの流出防止には水路にフィルタを設置する等の計画をしているとのこと。

参加者 フィルターによって、どの程度流出防止できるか。

議員 97%の流出を防ぐと聞いていますが、しっかりと水質検査をするようお願いしました。

参加者 広域避難場所の観点からみても、問題は無いのか。

議員 広域避難場所というのは、大きな災害が発生したときに一時的に住民の方が安全な場所に退避できる機能を持ったオープンスペースのことを広域避難場所と言います。実際に避難生活を送るところは、避難所です。避

難所については、町の地域防災計画では、主な選定の場所は学校とか公民館です。既存の建物を応急的に整備して使用します。これらの施設が得難いときには、野外にバラックを設置する等と地域防災計画には規定をしていますが、寄の場合は中学校や体育館、小学校もあります。これらの施設が得難い時というのは考え難く、運動広場にバラックを建てたりすることはまずないと認識をしています。

参加者 連日使用するとなると、ナイター照明が眩しく、生活に支障をきたすのではないかと心配されている近隣住民の方がいられるが、その点についての対応は。

議員 ナイターに関してもしっかりと確認をしていきたいと思えます。現状では、すでに町はナイターの照明の角度について、近隣住民と調整をしていると聞いています。

参加者 現在、グラウンドの立ち入り規制があつて、住民が気軽に利用できる環境ではないが、人工芝にするなら、寄の子どもたちや住民が憩いの場として利用できる環境にすることは出来ないか。

議員 住民説明会でも「自由に子どもが遊べない、遊んでると怒られる」というような意見が出ました。その後町長に相談し、管理者側と交渉していると聞いています。住民に憩いの場として使えるように要望を伝えていきます。

参加者 議会での議論が徹底されていないので、一度立ち止まるという意味で再審議は出来ないか。

議員 予算で通しているもので、再審議はできません。これから事業者との契約の審議について臨時議会を招集すると聞いていますので、先ほどの質問点をそこで確認するという形で対応します。



寄小学校屋内運動場多目的ルーム